



「みずほダイレクトアプリ」の更新系 API の提供開始ならびに 自動貯金アプリ「finbee」との連携開始について

～オープンイノベーション／「貯蓄から資産形成へ」のサポート～

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、個人のお客さま向け「みずほダイレクトアプリ」において、2016年9月に提供開始済の残高・入出金明細の「照会系 API」に加えて、資金移動が可能な「更新系 API」の提供を本日より開始します。（※1）

同時に、株式会社インキュリオン・グループ（代表取締役：鎌田大輔、丸山弘毅）の子会社である株式会社ネストエッグ（代表取締役：田村栄仁）に「みずほダイレクトアプリ」の更新系 API を提供するとともに、株式会社ネストエッグがサービス展開中の自動貯金アプリ「finbee」との連携も開始します。

自動貯金アプリ「finbee」とは、貯金の目的や目標金額、貯金の積み立てルールを簡単に設定でき、お客さまのライフスタイルに合わせた貯蓄をサポートするサービスです。今般、みずほ銀行の更新系 API を連携することにより、お客さまは、目的別の貯金をみずほ銀行の口座を通じて、シームレスに、安全にご利用いただけます。

【画像イメージ】



（※1） Application Programming Interface の略。外部のサービスとシステム連携をするためのプログラムやインターフェース。

今般の当行 API 提供および外部企業連携を通じて、さらなるオープンイノベーションを推進するとともに、「①保有する預金口座の一覧把握（Moneytree 社連携（2017 年 5 月））」から「②余剰資産の貯蓄（本件）」、「③資産形成（みずほダイレクトによる定期預金取引等）」による、安心、安全で便利な「貯蓄から資産形成へ」の仕組みを構築していきます。

以 上